Vol.184

NAGAOKA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY
KOSHI-DAI GAKUEN DAYORI

学生海外派遣研修報告 04-05

高志祭 02-03

体育祭 15

高志祭 02-03

部活動報告 14

高志台 学園だより

CONTENTS

高志祭	02-03
学生海外派遣研修報告	04-05
企業実習	06-07
見学旅行,工場見学	08-09
卒業後の進路を考える後輩諸君へ	10-11
専攻科だより	12-13
部活動報告	14
体育祭	15
新任教職員紹介	15
TOPICS	16

高志台(こうしだい)

古代, 新潟県を含む日本海側の一帯は, "こしのくに"(越の国・古志の国・高志の国)と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台(こうしだい)」と命名しました。

独立行政法人国立高等専門学校機構
長岡工業高等専門学校
Nagaoka National College of Technology
〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 http://www.nagaoka-ct.ac.jp/

2014.12.19発行

1

3

5

2

4

6

高志祭2014（平成26年10月31日～11月2日）

高志祭を終えて

学園祭実行委員長 物質工学科４年
田中　拓馬

皆さん高志祭お疲れ様でした。今年は３年に一度の学園祭ということもあり大いに盛り上がったことと思います。私自身高志祭等の大きな企画を運営するのが初めてということもあり，いろいろなことを経験することができました。

私が高志祭全体を通して気付いたのはお互いに顔を合わせて話し合う事の大切さです。頭（各担当の責任者）同士で連絡する際にメールを用いた場合，言いたいことが上手く文にまとめられず，お互いに認識の違いが生じてしまうという事態が多々ありました。しかし頭会議を開き，いざ顔を合わせて話し合ってみると予想以上にスムーズに問題が解決しました。また，お互いに顔を合わせて話し合うことにより，メールを見てなかったから知らなかった，といった事態も避ける事ができました。確認程度ならメールでもいいのですが，重要な要件ほど直接伝えたほうが良いのだと思いました。

次に，「お疲れ」という言葉の大切さに気付くことができました。私は放課後に学祭関係の仕事をしているとき，先に帰っていく友人達を見て，なんで自分だけこんな事をしなければならないのだろうと思うことがありました。ですが，寮に帰り友人に「お疲れ」と言われたとき，それだけでそんな気持ちは容易に消えて頑張ろうと思えました。また，閉会式後に言ってもらえたとき，学祭実行委員長をやっていてよかったな，今までやってきたことは無駄ではなかったんだなと感じる事ができました。

最後に，高志祭は皆でつくったということに気付けました。私は高志祭当日まで，高志祭は頭だけで運営していくものだと思っていました。しかし，高志祭のクラス企画や，学科の演劇，露店，個人企画といった企画は，頭ではない学生または先生方により運営されており，一つ一つがとても個性的で学祭を大いに盛り上げてくれていました。そして，各々が企画を成功させようと真剣に取り組んでくれたおかげで最高の高志祭にすることができました。

学園祭を運営するにあたって，いろいろなことを学ぶことができました。学園祭実行委員長をやっていて本当に良かったです。皆さんありがとうございました。

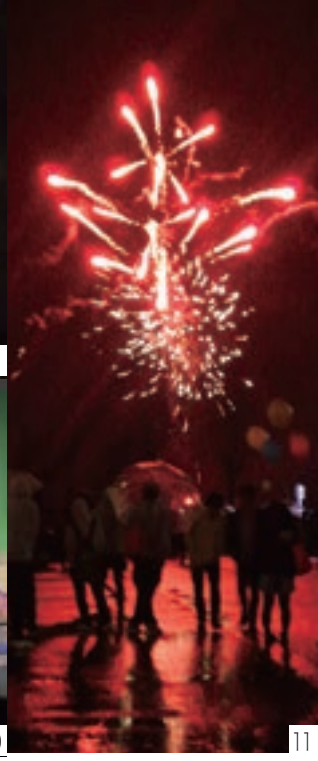
長岡高専名物 学科対抗演劇

結　果

総合	１位	電子制御工学科	
	２位	物質工学科	
	３位	機械工学科	
	３位	環境都市工学科	
脚本		機械工学科	
演技		電子制御工学科	
道具		物質工学科	
音響		電子制御工学科	
照明		電子制御工学科	
役者	１位	電子制御工学科２年	伊藤里桜
	２位	機械工学科１年	大石克輝
	３位	物質工学科１年	鎌田大輝
	３位	環境都市工学科１年	吉田琴音

7

9


11

8

10

大成功な高志祭

学園祭副実行委員長 機械工学科３年
志田　弘喜

学園祭の副実行委員長を務めさせて頂きました。今回の学祭で自分はあまり仕事をしませんでした。実行委員長と各頭の方々がどんどん学園祭を作り上げていきました。自分はそれをただ見ているだけでした。そしていざ当日，みんなが頑張って準備した学祭はとても楽しいものでした。自分はとても感動しました。準備の際に多くの問題が起こったにも関わらず，これほど賑やかで華やかな学園祭を作ってくれた学祭関係の人たちに。自分ももっと貢献すれば良かった。そう後悔するばかりです。

当日は本部に座っていました。すると屋台をやっている先輩が「お疲れ」と言って何度も差し入れをしてくれました。高専の OB の方も見られました。学外の方も多く来てくれました。ありがとうございました。高志祭特製リストバンドも買いに来てくれる人が非常に多く，完売しました。買えなかった人本当にごめんなさい。買った人は捨てないでくださいね。

私は校舎を回りました。お化け屋敷や射的などの面白い発想のクラス企画や，美味しそうなものが並ぶ屋台，ビンゴ，ダンス，演劇，LIVE…。高志祭だけあって学生達の気合の入り方が違うなと実感しました。盛り上げようとしてくれているのが分かって嬉しかったです。そして何より，学生と学園祭に来て頂いた学外の方達の「楽しい」の言葉を聞けたのが一番の喜びでした。

清掃隊の皆さんは３日間ゴミの処理をしてくれました。駐車場のみなさんはずっと車の誘導をして頂きました。他にも，裏で頑張ってくれた方達は沢山います。このような人たちの頑張りのおかげで学園祭は成り立っています。皆さんもその頑張りを称えてください。

私は花火の企画を担当しました。といっても花火師さんに花火を注文するだけですが…。当日は生憎の雨でしたが，それでも花火師さんはとても綺麗で大迫力な花火を打ち上げてくれました。警備隊の方達には雨のなか警備して頂き本当にありがとうございます。「花火綺麗だったね」と皆が言ってくれてとても嬉しかったです。

無事に３日間が終わった時はホッとしました。高志祭は大成功したと思います。実行委員長はとても頑張っていました。頼りない副実行委員長で申し訳なかったです。本当にお疲れ様でした。

来年は未工祭です。今年は自分は学祭を楽しむ立場でした。ですが来年は，素晴らしい学園祭を作り続けてきた先輩方の思いを引き継ぎ，今年度の反省を生かし，今までにないダイナミックでインパクトのある学祭をこの私が率先して作っていきます。そのためには皆さんの助けが必要です。手伝ってください。お願いします。是非一緒に作りましょ。

1	3	5
2	4	6

7	9	11
8	10	

1.高志祭本部でのパンフレット配布
2.ダンス同好会 Dance Stage 2014
3.吹奏楽部活紹介
4.露店
5.学祭企画投票の様子
6.デザイン部, 制御システム研究同好会の展示
7.機械工学科 演劇
8.電気電子システム工学科 演劇
9.物質工学科 演劇
10.環境都市工学科 演劇
11.閉会式後の花火打ち上げ

※電子制御工学科演劇は表紙中写真

平成26年度学生海外派遣研修

国際交流推進センターでは，学生を海外に派遣し国際性を高める取り組みを行っており，これまで延べ 230 名以上の学生が海外研修に参加しています。平成 26 年度は 42 名の学生が，ベトナム，タイ及び韓国，シンガポール及びマレーシアの各研修に参加しました。単に海外の観光名所を巡る海外旅行ではなく，同年代の海外の仲間との交流イベントを取り入れることで，国際交流の楽しさを実感してもらえるような研修を目指しています。来年度も同様の海外研修を実施予定です。興味のある方は是非，応募してください。

なお，各海外研修に参加した学生の研修報告は，来年 2 月に発行予定の国際交流推進センター通信 第 5 号に掲載されます。

タイ+韓国（平成 26 年8月 25 日～9月1日）11 名

電子制御工学科　皆川　正寛

今年度の研修に参加した学生は 11 名（4，5 年生と専攻科 1 年生，男子 4 名・女子 7 名）で，8 月 25 日～ 9 月 1 日にかけて教員 2 名（電気電子システム工学科 矢野，電子制御工学科 皆川）が引率しました。研修内容は，バンコク市内文化調査，泰日工業大学との交流事業，日系企業現地法人の工場見学，アユタヤ遺跡文化調査，経由地韓国でのソウル市内文化調査と盛り沢山でした。

泰日工業大学では，タイの学生と長岡高専生との混成チームを 6 班作成し，簡単な自走ロボットの組み立ておよび駆動プログラムを共同で作製しました。また，各チームで作製したロボットが既定のコースを 5 周するまでの時間を競い合う予選レースと，コースの端と端から同時にスタートしどちらが先に相手のロボットに追いつくかを競う決勝レースを行いました。泰日工業大学と本校は昨年度から交流事業を本格的に始めており，夏の派遣研修だけでなく，今年度の 5 月には泰日工業大学の学生 13 名が来校し，本校学生と交流しました。今回の研修では，前回までの研修に参加したメンバーもいたため，お互いの意思疎通は上手くいき交流を深めることができました。

日系現地法人の工場見学では，セイコープレシジョン㈱様と㈱ソディック様を訪問させて頂きました。セイコープレシジョン様では，時計の組み立てラインの見学だけでなく，昼食まで御馳走になりました。また，ソディック様では本校電子制御工学科の卒業生が出張に来られており，海外勤務に関する貴重なお話をたくさん伺うことができました。

ハードなスケジュールにもかかわらず，学生たちは体調を崩すこともなく精力的に研修に取り組んでいました。大きな事故もなく無事に研修を終えることができて嬉しく思うのと同時に，今回の研修が学生のさらなる飛躍の糧となればと願っております。

なお，来年度以降も海外派遣研修は実施されると思います。タイ研修は大変楽しいですが，他の国でも構いません。まだ海外に行ったことがない学生は，ぜひ学生のうちに一度海外研修に参加するとよいと思います。自分の中の『何か』が変わりますので，どんどんチャレンジしてもらいたいと思います。

ベトナム（平成 26 年9月2日～8日）15 名

機械工学科　井山　徹郎

9 月 2 日～ 8 日にかけて，学生 15 名（男子 10 名，女子 5 名）と引率教員 2 名（一般教育科 佐藤(公)，機械工学科 井山）の 17 名で，ベトナム社会主義共和国のハノイ市とホーチミン市にて研修をしてまいりました。

ハノイ市ではエコパークという大規模開発中の住宅街や伝統工芸品の産地であるバッチャン村，そして日本の政府開発援助で建設しているニャッタン橋の建設現場を訪問

し，ベトナム文化に対する知見や日系企業との関わりについて学びました。また，DENSO ベトナムとハノイ工科大学では，工場の内部や大学の研究施設内をゆっくりと見学させていただき，現地で活躍されている日本人の方との交流を通じて，これからの日本人に必要な国際性について貴重なアドバイスをいただくことができました。

ホーチミン市では，ホーチミン工科大学の学生達とグループワークを通じた交流会を行いました。グループワークは大盛況のうちに幕を閉じ，参加した学生にとって，忘れられない有意義なひとときとなりました。研修の最後はホーチミン市内と市外の史跡の訪問や，英語によるショッピング（値切り交渉）などを通じて楽しい時間を過ごすことができました。

この研修を通じて，エンジニアに必要とされる国際的な視野，外国人とのコミュニケーションには欠かすことのできない英語の重要性，そして日本の文化と技術のすばらしさを身をもって体験することができました。

シンガポール＋マレーシア

（平成 26 年9月4日～9日）16 名

物質工学科　村上　能規

今年度のシンガポール・マレーシア研修に参加した学生は 16 名（男子 14 名，女子 2 名），引率教員 2 名（電気電子システム工学科 床井，物質工学科 村上）で，9 月 4 日～9 日に実施しました。

初日は，シンガポール屈指の研究機関であるバイオポリスを訪問しました。バイオポリス内で勤務されている日本人研究者の井上雅文先生からシンガポールの研究機関の概要，そして，シンガポールの高度成長とその秘訣を御講話頂きました。海外の研究機関の状況やシンガポールの経済成長とそれを支える社会システムを御講話頂き，学生も視野を広めることができたのではないかと思います。その後，バイオポリスと同じ敷地にある産官学複合施設のフュージョンポリスの施設の見学をしました。シンガポールの最先端の技術を体験できる楽しい展示物が多くあり，有意義な時間を過ごすことができました。

2 日目はシンガポールを越境し，マレーシアの文化体験を目的に一日を過ごしました。シンガポールとは異なるマレーシアの地方都市ジョホールバルの雰囲気を満喫しました。ジョホールバルでは，モスクを訪問し（表紙左上写真），マレーシア伝統のろうけつ染めの体験も行いました。土曜日で休暇の初日に当たったため，シンガポールからマレーシアに大挙して休暇旅行に出かける様子，夕方には仕事を終えて出稼ぎ先であるシンガポールからマレーシアに満員バスにゆられて帰る姿を目の当たりにすることができました。“国境”という概念を改めて考えさせられた一日でした。

3 日目は自由行動日ということで，学生たちに自主的に行動計画を立ててもらい，シンガポール市内の散策を行いました。地下鉄の乗車体験も行いました。シンガポールの地下鉄は他の交通手段に比べ，非常に安く，市内をくまなく網羅しているので，移動には欠かせない便利な交通手段です。学生たちもなれない手つきで，地下鉄のチケット売り場のタッチパネルに悪戦苦闘しながら，乗車券を購入，地下鉄乗車体験を行いました。午前中は中華街，午後はセントーサ島を中心に自由見学を行いました。シンガポールのライフスタイルを体験できたと思います。

最終日は学生交流を目的に，ナンヤンポリテクという教育機関を訪問しました。ナンヤンポリテクの学生とゲームや文化紹介をしながら，交流を深めました。長岡高専からは福笑いを用意して，シンガポールの学生に紹介しました。喜んでもらえるか不安でしたが，楽しんでくれたと思います。ナンヤンポリテクの学生さんには，校内の案内だけでなく，空港まで来てお見送りまでして頂きました。交流したナンヤンポリテクの学生の中には，近いうちに日本の高専に留学する学生もいるとのことです。このような交流会が今後もさらに継続し，日本とシンガポールとの強い絆が深まればよいと思っております。

企業実習

第４学年では，夏季休業期間中に実施する選択科目として「企業実習」を開講しています。この科目では，本校が定める受け入れ企業および機関において，１週間から２週間までの期間に，生産・技術等の就業体験を通じて，実践的な技術感覚を体得させるとともに，技術者として必要な人間性の形成を図ることを目的としています。

企業実習受け入れ企業・機関一覧

機械工学科（25社）

株式会社鈴民精密工業所（２名），テラノ精工株式会社，理研精機株式会社（２名），株式会社長岡歯車製作所（２名），有限会社エヌ・テック，北陸ガス株式会社，長岡電子株式会社，国際石油開発帝石株式会社（２名），株式会社シンコーテック，株式会社コロナ，朝日酒造株式会社，マサル工業株式会社，上越工業株式会社，株式会社シンターランド，新潟原動機株式会社（２名），大島農機株式会社，株式会社リケン，株式会社IHI 検査計測，株式会社クラレ，日本精機株式会社，株式会社新潟日立（２名），三菱瓦斯化学株式会社，新潟造船株式会社（２名），JXエンジニアリング株式会社，株式会社日立製作所インフラシステム社

電気電子システム工学科（９社）

COM電子開発株式会社，株式会社クラレ，株式会社ヒューマンネットワーク，TDKラムダ株式会社，黒部川電力株式会社（２名），株式会社マイスターエンジニアリング，東日本高速道路株式会社，佐藤農園，有限会社割烹豆腐オオハシ

電子制御工学科（９社）

株式会社ジェイマックソフト，COM電子開発株式会社，株式会社広井工機，新潟県工業技術総合研究所中越技術支援センター，株式会社クラレ，株式会社トライテック，株式会社第一測範製作所，株式会社富士通エフサス，佐藤農園（２名）

物質工学科（９社）

国際石油開発帝石株式会社，新潟県農業総合研究所食品研究センター（２名），株式会社シンターランド（２名），新潟県保健環境科学研究所（２名），株式会社クラレ，三菱瓦斯化学株式会社，サントリーホールディングス株式会社，出光興産株式会社，旭化成株式会社

環境都市工学科（11社）

株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟（２名），大原技術株式会社（２名），北陸ガス株式会社，株式会社大石組（４名），株式会社中元組，小柳建設株式会社（２名），株式会社植木組，ダイダン株式会社，国土交通省北陸地方整備局（２名），東日本高速道路株式会社，株式会社加賀田組

インターンシップを終えて

機械工学科４年　吉原　健太

私は夏休みを利用して，日本精機株式会社で2週間の企業実習をさせていただきました。この企業では車載計器，センサーなど主に自動車用パーツなどを開発・製造しており，中でもヘッドアンドディスプレイという車載計器は世界シェア1位という強みをもった会社です。私は将来地元で働きたいと考えており，また計器にも興味があったのでこの企業を選びました。

実習はセンサー関連の座学や工場見学，そして実務的な作業をさせていただきました。この実習経験を通して，安全の取り組みやコミュニケーションの重要性を学びました。現場の作業を見学させていただきましたが，自動化が進んでおり無人運搬機も往来するため通路の線引きが行われていたり，通路上には物を置かないといった措置がされていたりしました。また，実習期間で行った作業で報告書を作る日がありました。報告書を書類で提出するとともに口頭で説明しなくてはならないので，伝えたい事を相手にしっかり届けるといったコミュニケーション能力が必要だと実感しました。

最後に，インターンシップでは学校では学べないことが多く自分の進路を決めるチャンスにもなりなります。将来で悩んでいる方は参加してみてください。

企業実習を経験して

電気電子システム工学科４年　保坂　拓哉

私は，株式会社マイスターエンジニアリング東京本社にて夏休みの期間中2週間，実習を行いました。私は，進学予定ですが，その後の就職を見据え，また編入後に必修として課されることがある企業実習を先んじて経験し，早い時期から視野を広げることを目的として，今回の実習を希望しました。

今回の実習は，北･東日本の様々な高専，大学から集まった学生と共に，外観検査装置の製作というテーマで実習を行いました。この装置は，製品の中に紛れている不良品や不純物をラインから払い出す働きを担う，いわゆる払い出し装置です。

実習では，装置本体の製作とプログラムの作成を行いました。装置本体の製作に関しては，３年次に取得した電気工事士の技術・知識を応用することができ，実際の企業という現場でこれを発揮できたことは，一層の技術の向上につながったと考えます。また，各地の学生と共に実習を行えたことは，非常に貴重な経験であり，本校以外の高専，また大学への関心をさらに広げるきっかけとなりました。

今回の実習を通し，企業での仕事という人生で初めての経験が，今後の人生選択の要素となり，また自らの視野を社会へと広げる貴重な第一歩とすることができたと感じています。

企業実習を体験して

電子制御工学科４年　品田　龍摩

私は，柏崎市にある株式会社トライテックに企業実習として訪問させていただきました。10 日間の比較的長い実習期間でしたが，その分大変得難い経験ができました。

こちらの会社では，業者向けの大型のインクジェットプリンタの製造・販売を行っています。従業員数は比較的少ないですが，社内の雰囲気は明るく，職員の方々も親切な方ばかりで非常に楽しく実習を行うことができました。

今回の実習では，まず，学校と社会の違いを強く感じました。学校の勉強では失敗は次に挽回できる事が多いのに対して，会社では常に失敗が許されない状況に直面します。製品のチェック作業などでその点を強く指導され，社会人の責任の重さを実感できました。

また，学校で学習した知識を用いている部分も多々見受けられ，学校での勉強の大切さが実感できました。反面，自分の知識不足も感じられました。

企業実習は，普段の生活では得られない知識や経験を社会に出る前に得られる数少ない場です。この経験をしているかどうかで，社会に出たときの順応性や仕事の効率が大きく違ってくると思います。ですから，来年の４年生の皆さん，企業実習にはぜひ参加してみてください。

インターンシップを通して学んだこと・感じたこと

物質工学科４年　木村　元紀

僕はインターンシップで，三重県の旭化成ケミカルズ株式会社鈴鹿事業場に行かせていただきました。鈴鹿事業場では，皆さんご存知のサランラップ，リカちゃん人形の髪に使用されているサラン繊維や魚肉ソーセージを包装しているサランフィルムなどが製造されていました。僕は今回，サランフィルムの製造を担当しているサランフィルム製造課で実習をさせていただきました。実習内容は，製造中に出るフィルムの無駄な部分をどのようにして削減するのか考察し，その仕様変更によって生じた諸問題の改善について実験してきました。今回の実習を通して学んだことは，実験計画の立て方・プレゼンの仕方や，社内のルールを守ることの大切さなどです。また，実習を通して，部署の間に壁のない，会社全体がフレンドリーな雰囲気だということを知ることができました。そして，実習が終わって１週間後に旭化成グループでインターンシップをした高専生を東京に集めて，実習報告会を行いました。そこでは，全国各地の高専生と親睦を深めることができました。今回のインターンシップは，これからの進路を考えるのに役立ち，とても有意義なものだと感じました。

企業実習を終えて

環境都市工学科４年　鹿ノ内　渓介

私は三条市にある小柳建設株式会社で 10 日間実習を行いました。おもに，五十嵐川の遊水地掘削工事の見学，工事の補助をさせていただきました。工事の概要を簡単に言えば，穴を掘って土砂を運び出すというものです。この工事は大雨などにより川が氾濫したときに川のすぐ近くに住んでいる人たちを自然災害の脅威から守る，人の命を守るという大事な工事でした。私が企業実習の参加を希望した理由は，社会に出て働くとはどういうことなのか知りたいと思ったからです。猛暑や大雨での現場作業はかなりつらかったですが参加してよかったと思っています。それは現場の雰囲気を肌で感じることができたからです。作業員の方々はお互いに工事を安全かつ迅速に進められるように意見を出し合いながら作業を進めていました。私も話し合いに参加し作業員の方とコミュニケーションをとりながら仕事ができました。

最後に，自分の将来について改めて考える良い機会となりました。将来どんな会社に入りたいのか？どんな仕事がしたいのか？すぐそこまで迫っている自分の進路についてもっと真剣に考えようと思いました。

第４学年見学旅行

（平成 26 年９月 23 日～ 26 日）

見学旅行は，国内の最新の技術や設備のある工場や研究所等を見学し，専門の知識を豊かにするとともに，文化財，名所旧跡を訪ね日本の伝統と文化を学び，技術者としてバランスのとれた成長を促すことを目的とした教育活動の一環として，第４学年において行われるものです。

見学先一覧

■機械工学科：愛知・東京

日本航空機体整備工場　日本車輌製造豊川製作所　豊橋技術科学大学　日産自動車横浜工場　JAXA 調布航空宇宙センター　サントリープロダクツ榛名工場

■電気電子システム工学科：京都・大阪

島津製作所創業記念資料館　妙心寺退蔵院　村田機械　東大阪市町工場（伊藤製作所，ノースヒルズ溶接工場）　京セラファインセラミック館稲盛ライブラリー　伏見稲荷大社

■電子制御工学科：京都・奈良・兵庫

三十三間堂　清水寺　奈良先端科学技術大学院大学　神戸メモリアルパーク　神戸海洋博物館　川崎重工業カワサキワールド

■物質工学科：北海道

札幌場外市場　大倉山シャンツェ　白い恋人パーク　おたる水族館　有珠山西山火口（洞爺湖）

■環境都市工学科：北海道

昭和新山　有珠山西山火口　登別地獄谷　白鳥大橋記念館（道の駅「みたら室蘭」）　ニッカウヰスキー余市蒸留所　京楽町ふきだし公園　小樽市内　札幌市内

見学旅行を終えて

機械工学科４年　小島　秀仁

私たち機械工学科は９月 23 日から 26 日の４日間，見学旅行に行ってきました。初日は日本航空機体整備工場の見学，２日目は日本車両豊川工場と豊橋技大の見学，３日目は日産自動車横浜工場の見学，４日目は JAXA 調布航空宇宙センターとサントリープロダクツ榛名工場の見学をしてきました。

先生方や OB の方の協力のおかげで一流企業の工場ばかりを見学させていただき，見学旅行としてとても有意義なものになったと思います。

私が今回の見学旅行で一番印象に残っているのは OB の方々との懇談会です。職場の雰囲気や，実際にどんな仕事をするのか詳しくお話しいただき，とても参考になりました。また，高専で学んだ専門科目の知識が実際の職場でとても役に立つということを知りました。その他にも大学進学の話や就職試験の話なども聞くことができました。

今回の見学旅行で，とても貴重な経験をすることができました。この経験をこれからの自分の進路に役立てていきたいです。

見学旅行について

電気電子システム工学科４年　荒木　達哉

私たち電気電子システム工学科４年生は今回の３泊４日の見学旅行で京都，大阪へ行ってきました。見学旅行内容としては，企業見学および観光でした。

企業見学では２日目の町工場を見学してきました。町工場では，色々な話を聞き，実際に見学して，物作りへの思いを感じ，物作りの大切さを学ぶことができました。電気にはあまり関係はありませんでしたが，物作りの面からしたら私たちにも関係のあることが学べたと思います。また，最終日に㈱京セラにも企業見学をさせていただきました。そこでも物作りの大切さを学ぶことができました。企業見学を通して，物作りへの思いはみんな同じということを知ることができました。

観光では，初日に妙心寺というお寺で座禅体験をしたり最終日に伏見稲荷大社へ行きました。座禅体験は私を含めクラスのほとんどの人が初体験でした。とても貴重な体験ができました。伏見稲荷大社は，鳥居がたくさん並んでいてとても神秘的でした。自由行動の時間はあらかじめ友達同士で決めた場所に行きました。

今回の見学旅行では友好関係を深めるとともに，物作りの大切さを改めて学ぶことができました。

見学旅行

電子制御工学科４年　吉田　司

見学旅行で一番記憶に残っているのは，見学として訪問した川崎重工で展示されたバイクにまたがり，固まって「い

いなあ…。」とひたすら言い続ける友人の姿です。その友人どのくらいそこに居続けたのか私には分かりません。少しクレイジーだと思います。振り返ってみると今回の旅行は，常に学生らしい妙なテンションであったと思います。

私たちは関西方面を旅してきました。実はクラスのほとんどの人が中学校の旅行でも関西方面に行っていたのですが，今回の旅行はそのときと，まるで違うものだったと感じます。大阪を１日自由に歩き回ったり，神戸で無駄に高い肉を注文したり，夜の京都を散歩したり，深夜テンションで朝まで熱く（？）語り合ったり…。クラスでいくつかトラブルもありました。ここではあまり語れませんが，そんなトラブルも今ではいい思い出です。

本当に楽しかったです。そんな研修旅行が終わり，これから受験や就職に備えなければならないと考えると少し悲しいです。いつかまた皆で旅行に行きたいですね。

北海道見学旅行

物質工学科４年　阿部　聖人

北海道へと向かった私たち物質工学科４年生の研修旅行４日間を一言で表すと，「自由」だったと思います。

北海道へと向かうフェリー，札幌，小樽市内，洞爺湖周辺，最後に寄った新千歳空港といった具合に，自由行動の連続でした。

企業見学として訪れた白い恋人パークも，遊園地の様な趣で，私たちの中に研修としてあそこに行ったと思っている人はほとんどいないでしょう。

もっと工場見学を増やせば良かったのか，もっと名所を巡る時間を増やせば良かったのか。この計画を立てた私は，未だにあれで正しかったのか分かりません。

しかし，自由行動の時間を増やすことによって，北海道という大地の空気を直に感じる事が出来たのではないかと思います。

そう言う意味では，当てもなく札幌市内を散策するという貴重な体験を出来て非常に良かったと思います。真面目な企業見学も良いと思いますが，私はああいった旅行も時には必要なのであり，それが今回の旅行だったのだと思います。

見学旅行に行って

環境都市工学科４年　本間　千悠

私たち環境都市工学科４年生は北海道へ行ってきました。歴史的な建造物が多数存在する札幌や小樽の町並みを散策しました。また，白鳥大橋の美しい造形に見惚れてしまい，その場をなかなか離れなかった人もいました。この見学旅行では最近注目されている二つのことに触れてくることができました。一つ目は火山です。昭和新山や有珠山の西山山麗火口散策路に行き，噴火の被害が生々しく残る光景を目の当たりにしてきました。噴火前に使われていた道路，住宅，幼稚園などがそのままの状態で保存されていました。噴火が起こったときに人々の命を守る構造物もみることができました。二つ目は余市にあるニッカウヰスキー蒸留所です。現在放送されている朝ドラの舞台となっている場所でもあります。

今回の見学旅行を通して，行く先々でみるもの全てが環境都市工学と深く関係していることを実感することができました。さらに，旅行委員として，終始クラスのみんなや引率の先生方の楽しんでいる姿を見ることができ，とても嬉しかったです。進路について真剣に考えていく時期になるため，今回の見学旅行を糧の一つとし，一日一日を大切に過ごしていきたいです。

第３学年工場見学（平成 26 年９月 25 日）

工場見学は，学校で学ぶことが社会でどのように生かされているかを実際の現場で感じるために，第３学年を対象として毎年実施している課外活動です。学科３年生全員が各科ごとに分かれ工場見学を行いました。今年の見学先は右のとおりです。

機械工学科
株式会社ツガミ，株式会社ミツワ

電気電子システム工学科
株式会社システムスクエア，ユニオンツール株式会社

電子制御工学科
日本精機株式会社，株式会社新潟日報社

物質工学科
株式会社越のむらさき，吉乃川株式会社，三菱ガス化学株式会社新潟工場

環境都市工学科
親不知高架橋暴露試験場，金谷山トンネル

株式会社ミツワ
（機械工学科）

株式会社システムスクエア
（電気電子システム工学科）

株式会社新潟日報社
（電子制御工学科）

吉乃川株式会社
（物質工学科）

親不知高架橋暴露試験場
（環境都市工学科）

卒業後の進路を考える後輩諸君へ

進路について思うこと

機械工学科５年　菅原　大季

私は来春より，東燃ゼネラル石油株式会社に就職することとなりました。自分がこの選択をした一番の理由として，昨年の夏に参加した企業実習が挙げられます。私はこの長岡高専に入学した当初より，卒業後は就職を希望していましたが，具体的にどのような職種に就きたいかといったところまで深く考えたことはありませんでした。４年の夏休みにあった企業実習では，私はかねてより興味のあった石油精製プラントでの業務について体験してみたいという理由から，今回入社に至った東燃ゼネラル石油へ実習に行きました。２週間という少し長めの実習期間の中で，社員の方々にも非常に良くして頂き，とても楽しいものとなりましたが，プラントの「運転管理」という職業であることから，メーカーの「設計職」のような業務とは全く異なっており，これまで自分が勉強してきた機械工学という分野を活用することが出来ないのではと感じることがありました。また，自分自身が「仕事」というものは「常に忙しい」もので，そこに「やりがい」を感じるものだと考えていたこともあり，実習時の交代勤務の業務体験にやりがいを感じる機会はありませんでした。そこで私は「仕事」を，楽しく生活するための手段だと考えを変えたところ，ここで仕事をしたいと強く思うようになりました。自分がどんな仕事をしたいのか考えることはとても大切なことですが，それと共に，自分がこの先どのように生きていたいか想像することも大切だと思います。そして，それを実現するためにどのような手段を取るべきかよく考え，実行することにより，自分が満足できる進路を選択できると私は考えます。

大学編入を希望する皆さんへ

電気電子システム工学科５年　安達　大和

自分はどこに進学・就職すればいいのか，いつごろから勉強を始めればいいのか，どのような勉強をすればいいのかと進路のことを考えると大量の疑問が浮かぶと思いますので，自分の大学編入の経験から助言したいと思います。

自分が進学のために本格的に動き始めたのは４年生の９月頃です。これはあまり早い時期とは言えず，４年生の夏休みの最初から本格的に始動するのが理想的です。まず自分が将来就きたい職業に有利な大学はどこなのかをネットで調べました。勉強の方法は，とにかく試験と同じレベルの問題を解くことでした。学校の図書館に行って問題集を借り，同時に志望大学の過去問にも取り組みました。過去問の正解は公表されていなかったので，夏休みが明けてからは他の問題集に取り組みつつ大学の過去問の解答を先生方に聞きに行きました。来る日も来る日も面倒な問題を持ってくる学生に先生方は優しく教えてくださいました。

編入試験の勉強では，実際の試験と同じ難易度になれるためにも，過去問を軸にして勉強するのがいいです。過去問はネットや学生課で入手できます。難しい問題に取り組むのは辛いですが，わからないときは問題集から似た問題を探したり先生方に教えてもらえば解けるようになります。

余談ですが，編入試験の表紙に書いてある年度は「実施年度」ではなく「入学年度」であることもあります。例えば平成 26 年に実施される試験には 27 年度入学者試験と書いてあるということです。くれぐれもご注意を。

進学から就職へ

電子制御工学科５年　小此鬼　一太

私は，進路について深く考えていませんでした。初めは進学をするつもりで勉強をしてきました。しかし，５年生になった４月に『就職したい』という気持ちが芽生えてきました。ここで私は進学するか就職するか悩みましたが，誰にも相談しないまま編入学試験の日が迫ってきました。進路の迷いもあり，勉強をまともにできなかった私は編入学試験に全て落ちました。当然ですが私は焦りました。担任の先生に迷っていたことを話し，親や就職担当の先生と相談をして就活を始めることに決めました。既に８月，就活を開始するにはとても遅い時期です。しかし，担任の先生と就職担当の先生のおかげでスムーズに進み，９月初めに内定を頂くことができました。

自分の進路です。悩むことは悪くありません。ですが，悩みを誰かに相談することは大切です。進路が決まらないと自分が思っている以上に周りに迷惑をかけてしまいます。私の場合は相談をしなかった結果，親や先生方に心配をかけてしまいました。早め早めの行動を心掛け，悩みがあるなら誰かに相談する，そして自分の決めた進路に向かって全力を尽くしましょう。その途中で心が揺れ動いてしまってもそれはそれでいいと思います。道を変えることは悪い事ではありません。『今年進路が決まらなくても来年頑張ればいいや』といった気持ちは絶対に持ってはいけません。進学にせよ就職にせよ，１年しかチャンスが無いと思いましょう。自分の進路です，真剣に考えて悔いの残らない選択をし，諦めずに頑張ってください。

卒業後の進路を考える人たちへ

物質工学科５年　山本　修平

小さいころ自分がなりたいものは何か，ふと思い出してみました。大工だったような気がします。物質工学科に進学するとは思っていなかったでしょう。その頃の自分はもやもやしたイメージの中からかっこいいという理由で大工を選んでいました。小さなころから夢見ていた職業に就くことができたなら，それ以上になく幸せなことかもしれません。ですがそれを実現できている人はどれほどいるでしょうか。自分が知っている限り夢見た通りの職業に就ける人は他の人間より一歩でも多くの努力を惜しまなかった人ではないでしょうか。今現在なりたいものや夢がはっきりしている人は，それらがない人よりも数歩あるいはそれ以上に有利です。夢を達成するために時間と努力を費やすことに抵抗はないはずです。問題はなりたいもの，目標とするべきものがない人です。自分はこちら側の人間でした。ただ，目標がなくても将来のことを考えて勉強を頑張っているなら心配はいらないはずです。５年生になる頃にはきっと進むべき目標が見つかるでしょう。何事も早め早めに行動を起こすに越したことはありません。仮にはっきりとした目標がなくても大まかなイメージでもいいと思います。海外派遣研修に参加し海外での交流を通じて何か気づくかもしれませんし，または４年次のインターンシップで企業の雰囲気を感じ取れるはずです。時間に余裕がある今だからこそ，いろいろなことに積極的に挑戦してみてください。

進学の覚悟

環境都市工学科５年　星野　大雅

私は専攻科に学力入試により，入学を決めた。学力入試において「入試に備え勉学に励む」は至極当然の事。同じように学力入試に臨む者達もみな勉学に励むのである。そこで他の者と差をつけるために，入学してからの自分を想像しておくことが重要である。もちろん絶対入学するという心持ちがあることが前提であるが，入学することを目標にするのではなく，入学してから何をしていくのかを，ある程度形にし，心に留めておく必要がある。

進学は社会に出る前に猶予をもらったに過ぎない。その猶予をどのように使うべきか。これを十分に考え，覚悟を決める必要がある。我々は遅かれ早かれ，社会には出ていかなければならない。それは逃げることのできない絶対的な将来である。すでに周りには進学ではなく就職をする者も多くいる。先に社会に出て行った者たちとの差をどれだけ縮められるか，あるいはどれだけ追い越せるか。これこそ進学をする上で一番考えなくてはならない点であろう。

だが，進学による利点は大きい。それは仕事に就いてからでは困難な取り組みにも積極的に取り組む機会を得ることができる点である。また学生は，社会人に比べ比較的，自由な時間を作ることができる。こういった利点を最大限に使い，猶予を充実したものとするという覚悟を，進学する後輩諸君らには持ってもらいたい。諸君らの健闘をここに祈る。

平成26年度進路状況一覧　平成26年11月末現在

●進学予定状況

本科

進学・大学編入予定先	北海道大学	東北大学	千葉大学	横浜国立大学	信州大学	新潟大学	筑波大学	長岡技術科学大学	電気通信大学	東京工業大学	豊橋技術科学大学	長岡高専専攻科	東京高専専攻科	合計
機械			1	1		3		17				5		27
電気電子システム		1	1				1	11		1	1	5		21
電子制御			1		1	7		16	1			4	1	31
物質	1		1					16			1	7		26
環境都市			1			1		11			2	9		24
計	1	1	5	1	1	11	1	71	1	1	4	30	1	129

専攻科

進学予定先	北海道大学大学院	宇都宮大学大学院	新潟大学大学院	筑波大学大学院	長岡技術科学大学院	大阪大学大学院	首都大学東京大学院	合計
電子機械システム		1	2	1	5			9
物質	1			1				2
環境都市					1	1	1	3
計	1	1	2	2	6	1	1	14

●就職内定企業等一覧

本科

○機械工学科
クラレ，ツガミ，Mテック，日立建機，牧野フライス製作所，田辺工業，東燃ゼネラル石油，上越工業，ミツワ，三恵技研工業，日本色材工業研究所

○電気電子システム工学科
マコー，宮崎電設，トライテック，エヌエスアドバンテック，東北電力，東日本旅客鉄道，東芝メディカルシステムズ，コスモシステム，ミツワ，富士テクノサービス，小川コンベヤ

○電子制御工学科
日本精機，ワイ・イー・データ，NSコンピュータサービス，富士ソフト，ツガミ，綜合警備保障，エヌ・ティ・ティ エムイー

○物質工学科
東燃化学，栄通信工業，メディサイエンスプラニング，星光PMC，星光堂薬局，白石工業，日立化成テクノサービス，森永乳業，中越酵母工業，信越化学工業，極東石油工業，東新工業

○環境都市工学科
新潟市役所，東京水道サービス，国土交通省北陸地方整備局，オリエンタル白石，エヌ・ティ・ティ エムイー，東日本旅客鉄道，JPハイテック，エヌ・ティ・ティ・インフラネット

専攻科

○電子機械システム工学専攻
日東紡績，システムサポート，ユニオンツール，日本オープンシステムズ，東京モノレール，アイフォーコム，日立情報通信エンジニアリング，日本精機，日本フローサーブ，日立ソリューションズ東日本，タマディック

○物質工学専攻
クラレノリタケデンタル，第一工業製薬，旭化成せんい，オハラ，日東電工，ユキワ精工

○環境都市工学専攻
横河ブリッジ，大日本コンサルタント，国土交通省北陸地方整備局，東日本旅客鉄道

専攻科だより

専攻科フォーラム 2014 の開催

平成 26 年7月4日㈮に本校 441 講義室にて専攻科フォーラム 2014 が行われ，専攻科1・2年生と，来年度専攻科に進学する予定の本科5年生 26 名が参加しました。

特別講演の講師として株式会社熊谷組，三輪晴文氏をお迎えし，また，就職・進学報告会，フリーディスカッションを例年どおり実施しました。その後，アトリウム長岡に場所を移して，専攻科生と教職員による専攻科懇親会が行われました。

専攻科フォーラム 2014　プログラム

開 催 日：平成 26 年7月4日㈮
場　　所：441 講義室
時　　間：13時00分～15時50分

1. 専攻科長挨拶
2. 特別講演会
三輪 晴文氏
（株式会社熊谷組 土木事業本部環境再生エンジニアリング部部長）
講演演目：福島原子力発電所周辺で起こっていること
3. 就職・進学報告会
宮部博之，牧野理紗，古川貴仁，韮澤洋平
4. フリーディスカッション
5. 閉会の辞

フォーラムとは何なのだろうか？

物質工学専攻1年
味方　陵

今年の専攻科フォーラムは7月4日に行われた。そもそもフォーラムとは何なのだろうか？気になって辞書を引いて調べてみると，【公開討論】・【古代ローマの公共広場】という意味らしい。開催場所は 441 講義室だったので，明らかに後者の意味ではないようだ。

そんな専攻科公開討論に集まったのは，専攻科1・2年生，本科5年生，教職員の計 130 名。内容は熊谷組の三輪さんによる福島原発を絡めた講演，専攻科2年生による進路報告会，フリーディスカッションの3本柱だ。その中でも興味深かったのは進路報告会で，就職活動に多大な不安を抱えている私としては同じ専攻科生の実体験を聞けるだけで有難い。何月から就職活動を始めたほうが良い，面接はこういうところに注意，など直前まで就職活動を行っていた専攻科2年生だからできるアドバイスをいただくことができた。さらにフリーディスカッションでは「ケータイや Wi-Fi の電波が弱い」といった理系らしい活発な意見も飛び出したことも印象深い。強いて改善点を挙げるとすれば，【公開討論】というくらいだからもっと多くの人が参加しても良いのではないかと考える。

特別講演を聴いて

電子機械システム工学専攻1年
渡辺　智之

東日本大震災が発生してからしばらくの間は，震災関連のニュースを多く見かけ，駅などでは照明を暗くしたり，自動販売機の照明を消灯したりと，身近なところでも震災の影響を感じていました。震災から3年が過ぎた現在，被災地から離れた場所ではすっかり元の生活に戻り，震災関連のニュースも少なくなり，被災地のことを意識することは少なくなりました。今回の特別講演会は「福島原子力発電所周辺で起こっていること」という題目で，原子力発電所周辺の現在の状況などについて知ることができ，改めて被災地のことや，原発のことについて考える良い機会になりました。また，原発の仕組みや放射線に関すること，地震発生後に原発で起こったことなどについても学ぶことができました。除染作業についてはその技術など，初めて知ることが多くありました。実際に原発周辺の地域で復旧工事や除染作業に関わっている企業の方のお話なので，その地域の現状がよくわかりました。原発周辺はまだまだ時間がかかるようですが，少しでも早く除染作業が進んでほしいと思いました。

平成 26 年度専攻科赤城合同フレッシュセミナー

平成 26 年9月 26 日㈮～27 日㈯，国立赤城青少年交流の家において，関東信越地区の国公私立の高専専攻科1年生を対象とした専攻科赤城合同フレッシュセミナーが開催され，本校専攻科1年生も参加しました。

このセミナーは，個々の高専の枠を越えた交流により専攻科生の視野を拡大し，研究・学習意欲の向上と学生生活の充実を図るために毎年実施されているものです。

貴重な体験

電子機械システム工学専攻１年
鈴木　智也

群馬県の国立赤城青少年交流の家で専攻科１年生を対象とした，赤城合同フレッシュセミナーが開催されました。セミナーには関東信越地区の９高専の専攻科生と様々な交流をしました。本科では他高専の方と交流する機会はほとんどなかったので，とても貴重な体験となりました。

交流会では自校の自慢や地域を紹介したり，各校とても工夫を凝らした発表でした。班別討議では９高専が交じってグループを作り，進路や特別研究，国際化など様々なテーマについてグループで討論しました。最初はなかなか意見が出ませんでしたが，徐々に活発な討論となりました。各グループの発表では，思いもつかないような考えがたくさんあり，さすが高専生だと思いました。成人としてお酒との付き合い方を経験するため，お酒を交えての交流もありました。さらに親睦が深まりたくさんの方といろいろな話をすることができました。

学外の方と交流して，多くの意見や考えを聞くことができとても参考になりました。学内だけという小さな世界で生きず，様々な人と関わり幅広い世界で生きることが大切だと思いました。

セミナーをとおして

環境都市工学専攻1年
近藤　礼侑

今回の赤城フレッシュセミナーはとても短い時間でしたが有意義な研修となりました。

研修の最初にあった自校自慢ではそれぞれの高専の紹介や自慢をスライドで発表しあいました。各校それぞれの特徴があってとても面白かったです。またその次のグループ討議では各グループ 10 人ほどでテーマに沿って討議しました。私の班ではグローバル化をテーマに話し合いました。１時間

という短い時間でしたが自分とは違った角度で多くの意見が出ていい勉強になりました。セミナーの最後はお酒も入れてみんなで交流会ということでパーティーをしました。みんな会ったばかりでしたがお酒の力も少し借りて色んな話をすることができました。専攻科は人数が少ないので普段同世代の学生と話す機会が少ないです。今回のセミナーでは同世代の他の専攻科生と話すことができてとても楽しかったです。将来のこと自分の学校こと地元の話など多くの話すことでとてもいい刺激をもらいました。この経験をしっかりとこれからの活動に生かしていきたいと思います。

学外実習

専攻科では必修科目として「学外実習」を開講しています。専攻科1年生は，夏季休業期間中に企業の生産・研究部門，公立の試験研究機関または大学等において，専攻分野に関連したテーマについて研修することにしています。特に，製品化・実用化を目指した技術開発を体験することにより，研究の実践を定着させることを目標とするものです。

学外実習を終えて感じること

電子機械システム工学専攻1年
長谷川　希望

私は国立高専機構の海外インターンシッププログラムを利用して株式会社荏原製作所にて3週間の学外実習をさせて頂きました。実習1週目は日本の藤沢事業所で半導体製造の際に用いられる CMP 装置について学ばせて頂きました。CMP 装置を製造する各部門の方のお話を聞き，実際の仕事の現状について知る事が出来ました。実習2～3週目はスコットランドにある EBARA Precision Machinery Europe にて真空ポンプのオーバーホールについて学ばせて頂きました。現地の作業員の方々から手とり足とり，時にはジョークを交えながらオーバーホールの仕方と仕事の進め方，現地の文化や習慣について教えて頂きました。

今回の学外実習では日本の仕事現場と海外の仕事現場の雰囲気の違いなど普段感じることの出来ない事を感じ取る事が出来ました。さらに，実習中は様々な方から貴重なお話を聞く事ができ，自分の将来について深く考える良い機会になったと思います。そのため，進路について迷っている4年生は積極的に学外実習に行き，学校では学べない事を学んでくるといいと思います。きっといい経験になる事でしょう。

学外実習報告

電子機械システム工学専攻1年
江平　大

私は，群馬県にある三恵技研工業株式会社に 14 日間学外実習へ行ってまいりまいりました。主に自動車のマフラーやドアサッシュの開発・製造を行っている企業です。なぜ選んだかというと，どうせなら家から通えないところで実習してみたかったからです。（他にもいろいろな理由が…）実習中は企業の説明を聞いたり工場見学をしたりするのかなと思いきや，初日から現場で手を動かして作業をしていました。装置の組み立てや解体，溶接等，電気電子システム工学科出身の私は経験したことのない分野だったので新鮮な気持ちで実習に取り組むことができました。実習を通して，挨拶はもちろんのこと，日頃の仕事へのモチベーションの持ち方・上げ方を学ぶことができ，今後の人生に非常に良い刺激となりました。実際一人暮らしをすると慣れるまで大変そうだなーと思いました。また工場で働いている外国人の方と交流したりと積極性が磨かれた期間でもありました。最後に，非常に良い経験をさせていただいた三恵技研さん・群馬県ありがとうございました！

学外実習を終えて

物質工学専攻1年
渡邊　陽子

今回私は，長岡にある北越紀州製紙研究所で2週間実習させていただきました。実習では主に，試作品の物性測定をさせていただきました。

私が配属された部署では，パルプから紙を作るのではなく，ガラス繊維から紙を作っていました。数種類のガラス繊維を組み合わせることにより，さまざまなニーズの紙を作ることができます。求められる機能の紙を作るために，いろいろなパラメーターを測定し，さまざまな角度から原料の配合を検討しており，私も卒研などにおいて，さまざまな角度から物事を見ることが大切だと感じました。

また，研究所では，リスクアセスメントが徹底されていました。毎日の安全ミーティングや，毎週行われる危険箇所のピックアップなど危険を排除する取り組みがなされていました。それに比べ，高専ではまだまだリスクアセスメントが徹底されていないと私は感じました。このように，企業の安全への取り組みを参考に高専でも行っていければなと思いました。

普段，なかなか内部を見たり，雰囲気を感じることのできない研究所で実習を行うことができて，とても良い経験になりました。

平成26年度 長岡高専専攻科進路ガイダンス2の開催

平成26年10月7日㈫に本校430講義室にて平成26年度長岡高専専攻科進路ガイダンス2が行われ，専攻科第1学年生と希望者が30名参加しました。

まず，5名の修了生から実体験とアドバイスをいただき，その後，グループに分かれてQ＆A及び交流が行われ，自分の将来について迷いを持った専攻科生が真剣に質問をして，良いアドバイスをいただいていました。

平成26年度
長岡高専専攻科進路ガイダンス2　プログラム

開　催　日：平成26年10月7日㈫
場　　所：430講義室
時　　間：13時00分～15時30分

1.挨拶及び講師の紹介
2.先輩の実体験とアドバイス
- 長岡工業高等専門学校　金子 健正 氏
  平成18年度修了，電子機械システム工学専攻（機械）
- TDKラムダ株式会社　斎藤　紘 氏
  平成23年度修了，電子機械システム工学専攻（電気）
- 株式会社システムスクエア　廣井　勇 氏
  平成21年度修了，電子機械システム工学専攻（制御）
- 日揮触媒化成株式会社　藤宮　佑輔 氏
  平成19年度修了，物質工学専攻
- 株式会社ネクスコ・メンテナンス新潟　西　信衛 氏
  平成23年度修了，環境都市工学専攻

3.グループに分かれQ＆A及び交流

部活動報告

文化発表会を終えて

文化発表会実行委員長 物質工学科2年
小池　みさき

8月27日～29日に東京高専を会場とし，「第39回関東信越地区高専文化発表会」が行われました。文化発表会とは，関東信越地区にある高専の文化部が集まり，日ごろの活動内容や成果を発表しあうイベントです。

準備会の段階から様々なことを想定し，主催校任せではなく，参加校全てが積極的に意見を交わし成功に向けて進めていく。参加するからこそ感じられる密度の濃い雰囲気だと思いました。

当日はいくつかトラブルや想定外のことが発生したりもしましたが，各校の役員等の方々が臨機応変にそれぞれ対応し無事に終了することができました。本当によかったです。

私は今年度初めて実行委員長を務めさせていただきました。何もわからない私に一から教えて下さった先生方，先輩，本当にありがとうございました。先輩に教えて頂いたことは全て頭に叩き込み，大切にしようと思います。

また，初めてのことが多く先生や各部長に連絡や手配等，不手際や失礼があったと思います。ご迷惑をお掛けしました。そしてご協力ありがとうございました。

今回の経験で勉強させて頂いたことを来年の文発はもちろん，これからの学生会活動，学校生活で存分に生かしていきたいと思います。

全国高専大会を終えて

環境都市工学科5年
品川　彰

柔道部は毎年全国高専大会の団体戦と個人戦に出場するもののここ9年間は入賞がありませんでした。

私にとっても今回5年間の集大成となる高専大会は入賞しようという気持ちが強く，柔道部全体でも一致団結し，質の高い練習を今まで以上に一生懸命にやってきました。

大会の朝，いつも2杯は食べるご飯を緊張のあまり1杯しか食べられず，大会に向かいました。団体戦でのリーグ戦の相手は徳山高専と富山高専でした。この2校には苦戦しながらも勝つことができ，決勝トーナメントに進むことができました。決勝トーナメント1回戦の相手，近大高専には敗れたものの9年ぶりに3位入賞することができました。また，後輩の森山が90kg級個人戦で大活躍を見せ，こちらも9年ぶりとなる3位入賞をはたしました。

この結果を出せたのは分かりやすく熱心に教えて下さった阿部先生や一緒に練習に毎日参加して頂いた桐生先生，大会の運営等でお世話になった高橋先生，柔道部のムードメーカーの田原先生などの先生方，練習を真面目にやってきた後輩たち，応援してくださった方のおかげです。5年間くじけそうなこともありましたが柔道をやってきてよかったです。柔道部最高です。

■ 関東信越地区高等専門学校体育大会

競技種目	競技結果		
卓球	男子個人戦ダブルス	齊藤・早川 組	3位
バドミントン	女子団体 2位		
	女子ダブルス	茨木・岸 組	2位
ソフトテニス	女子個人戦	佐藤・中澤 組	3位
バレーボール	優勝		
バスケットボール	男子 3位		
剣道	女子個人の部	伊東　日和	3位
ハンドボール	2位		
柔道	団体　優勝		
	男子個人戦 60kg級	佐藤　峻登	優勝
	男子個人戦 73kg級	武石　敬也	3位
		三五　彬喜	3位
	男子個人戦 90kg級	涌井孝太郎	優勝
		森山　諒	2位
		渡部　領一	3位
	男子個人戦 90kg超級	品川　彰	2位
水泳	総合　優勝		
	男子400mフリーリレー（佐藤，武田，金子，大倉）		2位
	男子400mメドレーリレー（金子，西木，吉野，大倉）		2位
	男子100m自由形	佐藤　瑠唯	2位
	男子400m自由形	大倉真一希	優勝
		武田　雅平	2位
	男子800m自由形	山賀　大暉	優勝
		大倉真一希	2位
	男子100m背泳ぎ	金子　泰士	優勝
	男子200m背泳ぎ	井嶋　稜之	3位
	男子100m平泳ぎ	西木　航	優勝
	男子200m平泳ぎ	西木　航	3位
	男子200mバタフライ	吉野　拓弥	2位
	男子200m個人メドレー	佐藤　瑠唯	優勝
	女子100m平泳ぎ	石丸　美穂	3位
	女子 50mバタフライ	箭内　天依	3位
陸上	男子800m	井守　優和	3位
	男子1500m	井守　優和	3位
	男子110mハードル	田中　大地	優勝
		大谷　俊介	3位
	男子砲丸投	髙畠　魁人	3位
	男子円盤投	平山　大樹	3位
	女子800m	岡﨑　恵子	優勝
	女子1500m	岡﨑　恵子	優勝

■ 全国高等専門学校体育大会

競技種目	競技結果		
柔道	男子団体　3位		
	男子個人戦 90kg級	森山　諒	3位
水泳	男子400m自由形	大倉真一希	4位
	男子800m自由形	大倉真一希	4位
		山賀　大暉	5位

体育祭（平成26年10月15日）

体育祭を振り返って

体育委員長 電子制御工学科４年
岩渕　雅人

昨年度の体育祭，３年生の体育祭，私は副体育委員長として体育祭の企画を行っていました。役員のみんなで夜遅くまで学生会室に残って企画書の添削，訂正を行って，素晴らしい企画書が仕上がったと思っていました。しかし昨年度の体育祭は雨で中止になってしまい，開催されずにクラスマッチを行っていました。昨年度の委員長はとても残念がっていたため，私は今年こそは体育祭を開催し成功させようと思っていました。

私が役員でなかった時の体育祭は低学年でクラスの団結もあまりなかったため，ただなんとなく参加していて，自分の試合の時間になったら競技に参加してそれまでは椅子の上で寝ているだけ，何も考えずに過ごしていたら一日が終わっていました。２年生の時は学生会の体育委員会に入って体育祭の運営をはじめて行いましたが，そのときはただ忙しくて目の前の仕事をこなしているだけで一日が終わってしまい，体育祭の全体を見ることができていませんでした。

そして，本年度の体育祭では，企画書の作成に時間をかけた甲斐もあり，さらに役員みんなが頑張ってくれていたため，昨年度初めて行う予定だった新競技もスムーズに進んで全体的に時間通りに進行させることができました。私は本部で各役員に指示を出していただけで２年生の時の体育祭のような大変さはなく，競技を見ながら体育祭を楽しむことが出来ました。そこで初めて体育祭の全体を見ることができました。体育祭は私たちが頑張った分だけ盛り上がっていて，学科，クラス，部活動など，各コミュニティごとに盛り上がっているところを見ると涙が出そうでした。そんな行事を開催出来たことを私は誇りに思います。

本年度の体育祭では専攻科の方から専攻科のリレーの出場枠を作ってほしいと要望があり，当日には綱引きのエキシビションを行いたいという学生が沢山いました。そのような体育祭をよりよいものにできそうな意見は大歓迎ですので，意見が通るかわかりませんがどんどん体育委員会の学生に言ってみてください。そして来年度以降も体育祭がよりよいものになるように，一般学生のみなさんも役員のみんなも頑張りましょう。

今までは行事を運営する側にいて，どうやったら行事がうまくいくか，どうやったら学生がたくさん参加してくれるかということを考えていました。来年度の体育祭は，私は選手として参加しようと考えています。選手側から体育祭を盛り上げられるように頑張ります。

新任教職員紹介

長岡高専に着任して

一般教育科　准教授
市村　勝己

本年９月より一般教育科英語科に着任しました。本校の電気工学科卒業生です。卒業後は大手の化学会社に入社し，約 20 年間に亘り単結晶シリコン半導体の材料製造技術者として主に欧米のパワー半導体デバイスメーカーの技術サポートを行ってきました。また 30 代の頃には２年間休職し，英国のロンドン大学 Queen Mary 校に留学してビジネスと工学を学びました。これらの経験から独学で英語を身につけました。つまり，はじめは仕事の必要に迫られて英語を使うといった受動的な姿勢から，その過程においてもっと英語力をつけたいという意欲につながり，その結果，私費留学という人生の大きな決断をしました。2007 年からはここ長岡で起業し英会話教室経営や海外進出支援の企業コンサルティング，そして海外企業の日本人法人設立支援等に携わってきました。

企業では社員の英語能力を TOEIC で評価するのが一般的です。長岡のある企業ではスコアの結果が賞与の額に影響するとの話も聞いています。今から 25 年以上も前の話になりますが，私が入社した頃には既に社内の TOEIC　IP テストは実施されていました。高専を卒業し企業に入社して 20 代前半の頃に初めて受験した TOEIC スコアは 400 点にも満たなかったです。しかし，海外駐在や昇進などの目標を掲げ，それらを達成する為に，定期的に受験を続けました。TOEIC スコアで 800 点を超えた時には念願の海外駐在と昇進も果たしました。さまざまな経験を通じ 40 代半ばで受験した結果スコアは 900 点を超え，その時のリスニング部門では満点を取りました。

語学学習は継続あるのみです。偏差値の高い高専生ですので「読む･書く･聞く･話す」の４技能を効率的に取り組めば，短期間で驚くほど TOEIC スコアは伸びます。私のように長い時間とお金はかけなくて済みます。また，一度身に付けたものは楽器の演奏などと一緒で簡単には自分の体から離れません。この５年間を利用して専門技術を身に付けると共に英語学習にも真剣に取り組み，卒業時点で TOEIC スコア 600 点以上を目指しましょう。そして社会人になってからも学習を続け更に上を目指しましょう。高度な専門技術と英語力があればこの先就職しても研究者となっても道は明るいと信じています。まさに鬼に金棒です。

高専で英語を学ぶ学生，そして英語に関係する皆様の一助となれば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

総務課 調達係
鈴木　善晴

趣味　野球，テニス，スノーボード，ゴルフ
抱負　本年 10 月1日付で長岡技術科学大学から参りました。
長岡高専は始めての勤務になり，全力かつ新鮮な気持ちで毎日勤務させていただいております。
新参者でございますが，全力で本校のために尽力させていただきたいと思いますので，よろしくお願いします。

総務課 財務係
和久井　駿

趣味　テニス，ラーメン食べ歩き
抱負　本年 10 月1日付けで長岡技術科学大学から参りました。
長岡高専にきて，まず驚いたことは，学生の皆さんから元気よく挨拶をされることでした。私もその元気に負けないように，精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

ながおかハイスクールガイダンス報告

広報戦略室　高橋　章

8 月 6 日㈬にアオーレ長岡を会場に長岡市教育委員会主催の標記イベントが開催されました。今年は県立専門高校メッセと同時開催となり，本校を含めて 45 校が出展し，午前，午後に分けて学校紹介や体験学習等を実施しました。中学生と保護者を合わせて 1650 名が参加したそうです。本校は電気電子システム工学科 3 年の黒川佳穂さんと伊藤涼平くんがステージ発表で学校紹介をしてくれたほか，ロボティクス部によるデモを行いました。関係者の皆さま，暑い中をおつかれさまでした。

オープンキャンパス 2014 報告

広報戦略室　高橋　章

8 月 9 日㈯，10 日㈰の 2 日間，オープンキャンパスを開催しました。参加者の延べ人数は中学生 449 名，保護者等 365 名，計 815 名でした（昨年度は中学生 462 名，保護者等 319 名，計 781 名）。

午前中は参加者を 2 グループに分け，学校説明会と校内の施設見学を行いました。学校説明会では，学生会副会長（物質工学科 4 年 菊入祐生くん，物質工学科 4 年 梶原優奈さん），寮長（機械工学科 4 年 橋立大くん，物質工学科 4 年 清水真穂さん）が，大勢の聴衆を前に合計 4 回のスピーチをしてくれました。

午後は保護者向けには進学ガイダンス，中学生向けには 11 テーマの体験学習を実施しました。体験学習においても，多くの学生が教職員のサポートをしてくれていたようです。

終了後のアンケートでは，中学生の 87% が体験学習を「大変良かった」と評価してくれました。その他のプログラムも，参加者の 99% から「大変良かった」または「良かった」と，昨年度とほぼ同レベルの評価が得られました。実施に協力いただいた学生，教職員の皆さま，ありがとうございました。

リケなび in にいがた報告

広報戦略室　高橋　章

8 月 30 日㈯午後に新潟駅南口の UX レクスタを会場に「体験！長岡高専リケなび in にいがた」というイベントを初開催しました。大学進学までを意識する中学生と保護者を対象に，理系の進路選択をナビゲートするための講演やロボティクス部のデモを行った後，5 グループに分かれて各専門学科が用意した体験学習を受講していただきました。各テーマで定員を設定したため，参加者は約 40 名と少なめでしたが，その分「高専教育」の良さがアピールできたのではないかと考えています。開催にご支援・ご協力いただいた同窓会の皆さま，実施に協力いただいた学生，教職員の皆さま，ありがとうございました。

科学の祭典　燕・弥彦大会

教育研究技術支援センター技術長　星井　進介

9 月 13 日㈯，14 日㈰の 2 日間，燕市で「科学の祭典 燕・弥彦大会」が開催され，1 日目は「紙と水でインクの色を分けてみよう」，2 日目は「浮沈子をつくって遊ぼう」というテーマでブース出展しました。いずれも小さな子供でも楽しく安全にできる内容で，来場者が作ったものはお土産として記念に持ち帰ることができるテーマです。本校の出展ブースは大変盛況で，2 日間で約 300 名の方々に参加していただきました。多くの来場者の方々が，楽しみながら科学工作の ” ものづくり ” を体験されたのではないかと思います。ありがとうございました。最後に，今回のブース出展にあたってご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

長岡高専サイエンスフェスタ in 新潟

電気電子システム工学科　山﨑　誠

昨年から，新潟市の新潟県立自然科学館で「長岡高専サイエンスフェスタ in 新潟」を開催しています。子供たちに，科学や工学の楽しさを実験や LEGO ロボット製作を通じて体験してもらい，同時に長岡高専を広く知ってもらえる機会になると考えています。

今年は，10 月 5 日㈰に科学館のエントランスホールで科学実験の体験学習を実施しました。コマ対戦，モータ製作，レンチキュラーレンズ，お米の細胞観察，微生物観察の 5 テーマの体験ブースを設けました。当日の入館者は 1277 名，各ブースには 100 ～ 180 名の来場があり，盛況でした。

来春 3 月 7 日㈯には，同館でロボット教室を開催予定です。

UD FONT
ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき，より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルフォントを採用しています。